



そ  
う  
せ  
い

発行所  
全国曹洞宗青年会  
〒165-8541 東京都港区芝2-5-2  
曹洞宗宗務庁内  
発行責任者 寿松木宏毅  
編集責任者 東井千明  
TEL 03-3454-5411

## 目 次

○環境問題特集 ーその5ー	
※自然との共生!!	1
※聖護寺が環境問題と取り組んできたこと	1
聖護寺内 高野無涯 氏	
※鳳儀山聖護寺略伝	4
※シャボン玉石鹸について	5
○インターネットの世界をのぞいてみよう ーその5ー	6
※パソコン格闘記 ～Windows98導入～	8
※パソコン研究委員会からのお知らせ	10
○紙上研修「利他行」(6)	11
ー太田久紀 先生ー	
○仏法伝道の二大障碍	13
仏教振興財団理事長 井上信一 氏	
○全曹青 花まつり事業について	18
※(平成10年度「禅文化学林」)北海道大会御案内	21
○東北地区曹洞宗青年会 第23回東北地方集会 宮城大会のご案内	22
○中国曹洞宗青年会 連絡協議会「山口大会」のご案内	23
○全日本仏教青年会 全国大会のご案内	24
○夢街道ウォークラリーについて	26
○コラム・編集後記	28



SUIJUNDO

位は莊嚴5理  
 仏壇 集雲堂  
 仏具 集雲堂

本店 東京都台東区元浅草4-9-14 TEL03(3842)0201  
 支店 稲荷町店・稲荷町駅前店・上野駅前店・等々力店  
 砧店・横浜店・大宮店・船橋店・松戸工場

# ★環境問題特集—その5—

## 「自然との共生!!」

### 熊本・聖護寺様の取り組み

聖護寺は熊本県菊池市から東北へ約二十キロ、標高七百メートルにある山寺である。「大智禪師伽藍」や「発願文」などで親しまれている大智禪師が居を構え、二十年住まわれたという勝蹟である。現在は四国、瑞應寺僧堂の別堂として、また国際禅道場として海外からの修行者を受け入れている。

今なお電気を引かず、ガスもない。夜はランプとローソクの灯りで過ごし、炊事はすべて山の薪で賄われる。水道の蛇口からは豊富な山の水があふれ出てくる。

溪深く緑豊かで環境に恵まれた、この人里離れた山寺が、なぜ環境問題と関わり、どのような行動を起こしているのか寄稿していただきました。

#### 聖護寺が環境問題と

#### 取り組んできたこと

聖護寺内 高野 無涯

(一) EMによる東司(トイレ)の自家内水洗浄化システムについて

国際安居では、まず汲み取り式東司が何と言っても海外の人たちに悪評だった。それは匂いとハエの発生が我慢できなかつたのである。

当時ご健在でいらした住職橋崎一光老師より「東司を水洗式に改造する。しかし汚物は一切外に出さず自家内で処理すること」という課題を与えられた。しかし、電気がないために苦慮を重ねた。ある時、老師よりEMの活用を助言され、ご紹介で香川県高松市の喝破道場(報四恩精

舎、野田大燈師)に見学に行き、非常にすぐれたEM水洗浄化システムであると理解した。改修にかかる工事費なども安いコストで出来ることから、早速聖護寺でもそれを真似をすることにし、少し手を加え平成八年の夏の国際安居前には東司の改修



熊本県菊池市の山中にある聖護寺が環境問題に取り組むようになってから四年になりました。そのきっかけは、七年前の国際禅道場の設立からであります。毎年五月からの二か月間、夏季国際安居を開単し海外からの安居者を受け入れ共に修行生活をしている。そうした中で海外の人たちからの意見と苦情が何と言っても環境の問題と関わり、取り組む機会となりました。

以下項目ごとに、これまでの取り組みと現在の状況を報告させていただきます。



を終えることができた。

その改修は便槽の上部に横からパイプを通し、五十メートル先の畑の中のプールに溢れた分の汚れが流れて溜まるようにした。プールが満杯になると更に二十メートル先の畑に肥料としてまくか、あるいは素掘りの穴に流して大地に戻している。便槽やプールに随時EMを入れると、東司特有のにおいが取り除かれ、自然に汚水は浄化され畑の肥料ともなり、大地に戻しても何の問題はない。

毎日の東司掃除に洗剤の代わりにEMを使っており、市販のトイレ洗剤、消毒薬等は追放した。一年目から効果が出はじめ、葉害とも無縁である。今後も改善をしていくが、怠らずにEM処理していれば良好な状態となることは聖護寺でも実証された。

EMが農業に有用なことはこれらの過程で自然に理解できた。幸いお寺には広い空地があったので無農薬、無化学肥料でEMを含んだ東司の液を肥料に使った自給自足の野菜栽培を始めた。当山では以前から、玄米、菜食であるが、それによって市販の野菜がいかに農薬、化学肥料づけになっているかをはっきりその味覚から知ることができる。

### (I) 生ゴミの有効活用について

生ゴミもEMで処理し肥料にしている。スーパーやホームセンターなどで販売しているEMボカシを買って、密閉容器に移した生ゴミにふりかけておくと、これが野菜畑の肥料になるので、随時畑に埋めている。容器の底に溜まった液は東司にまいてさらに浄化に役立てている。生ゴミが有用なのである。いやな匂いは

発生せず、タヌキなどが好んで食べることが生ゴミの有用な証拠であると思う。



### (II) 中性洗剤の不使用方法について

洗濯と食器洗いの汚水処理も大問題である。聖護寺に電気はきていないが、発電器で洗濯機を回し洗濯している。この洗濯水が水路を通ってダムにたまり、菊池川に流れ田んぼに入っていく。中性洗剤などを使うことにより田や畑が汚染され、作物を通じて人体に入り影響が出ることは、すでに有害として実証されて

墓石工事全般・環境石材  
造庭園施工・土木工事業



泉  
石の石良

株式  
会社

泉山石材

☎031-0023 青森県八戸市是川坊坂1-2  
代表(0178)96-1414  
FAX(0178)96-5716

いる。

そこで長い間、安全な洗剤を探し求めていたところ北九州市にある「シャボン玉せっけん」を見つけたことが出来た。現在は衣類、食器、お風呂すべてにこの石鹼を使っている。ほぼ純粋な石鹼なので人体に安全で、節水ができる。しかも自然を汚染しない。使ってみるとそれがよくわかる。メーカーでなくともよいが、宗門寺院がごぞつて純粋石鹼の使用を始めてみるのも環境問題への大きな取り組みとなるであろうし、檀家の方々にもその使用をすすめながら、環境に対する意識を向上させることができるのではないだろうか。特に両木山にもぜひ実施していただきたいと願っている。

#### 四 燃えるゴミの分別について

燃えるゴミは市の規定通りに分別し、山内で燃やせるものは燃やし、プラスチック類はゴミ焼却場で処理してもらっている。今後お寺では燃やせない化学物質のゴミは出来る限り持ち込まないことにしていく。

今、聖護寺の山の裏側に産業廃棄物の大焼却場を造る計画があり、ゴミ問題は身近に起きていくこととし

て重大な関心事である。



#### 五 太陽熱発電の利用について

電気の来ていない当山にも、洗濯機だけはあり、時折発電機で回している。このエネルギーがガソリンなので後ろめたい思いがある。

これを太陽熱発電に変えるべく検討中であり、今年中にも実施したいと考えている。設備自体が環境汚染を伴って造られるとも言われるが、設備の耐久性に期待をしている。貴重な資源を浪費せず、大気も汚染しないよう今後心がけていくつもりで

ある。

以上現在、聖護寺が環境問題に取り組んでいることを簡単に報告させていただきます。元より試行錯誤中のことはかりで、更に改善を重ねるべく、大方のご助言を期待しております。

#### ◎ (註1)

EMとは発見者である琉球大学農学部、比嘉照夫教授が名付けた造語で英語の「有用」(Effective)と微生物(Micro-organisms)を組み合わせた「有用性微生物群」の略称。EMは上壤を蘇生の方向へ転換させる力を持ち、生ゴミの堆肥化、汚染の浄化、排泄物処理等でも画期的効果が実証されている。

EMについては書店でも本が出版されておりますので興味のある方は御参考下さい。

#### ◎ (註2) EMボカシ

EMは乳酸菌、酵母などの数種類の微生物を米糠などの有機物に混ぜ、発酵させたもの。茶色の粉末で生ゴミの分解促進効果がある。一ヶ月の使用量約五百グラム入り二百五十円ほど、コスト的にも安い。

◎ (註3) シャボン玉せっけん  
無添加剤石鹼として「健康な体と

きれいな水を守る」をキャッチフレーズとして大きな反響を呼んでいる。

●お問い合わせ先

北九州市若松区南二島二二二三一  
フリーダイヤル 〇二二〇一

四八〇〇九五



# ☆環境問題特集—その5—

◎聖護寺様で去る11月1日から3日間、NHK「こころの時代」の収録がありました。大智禪師について水野弥穂子先生がお話いたします。放映は11月22日です。どうぞ御檀家様にもお知らせ下さい。(教育テレビ 午前7:30~8:30(再放送なし))

## 鳳儀山聖護寺略伝

〔参拝の葉より〕

聖護寺の歴史は古く、今を去る六五〇年前、南北朝時代初期に遡る。

開山は、永平道元禪師六代の嫡孫大智禪師である。開基は、この時期九州きつての強豪菊池一族第十三代武重公である。大智禪師は、武重の父武時公の時より篤い帰依を受け、玉名に広福寺を開かれ、一族の禪導教化にあたられたが、この間にも仏祖正伝の仏法である禪を行じるに相応しい深山禪寂の地に道場を開くことを希望された。この志願を受けた武重公が、延元二年(一三三八年)に大智禪師に寄進したのが聖護寺である。道場として開創された聖護寺では、明日の命をも知れぬ戦乱激動の中、武士と修行僧とが、正に生死を決すべく禪修行に専念したことであろう。

反乱策謀渦巻く南北朝期、一族の存亡をも省みず、一切私利私欲に走らず、南朝方の急先鋒として、終止一貫戦い抜いた菊池一族の不倒不屈の精神は他に類を見ない。禪に培われたものか?大智禪師二十年の鳳山山居の間、一族の諸将より寄せられた数々の「起請文」には、大智禪師に対する深重の帰依尊崇の思いと、

仏法護持紹隆の願いがこめられている。

換言すれば、菊池一族の戦いは、武士に依る利己的権政を親政に改め、仏法興隆の国家を建設しようという、悲願の戦いであったとも言えよう。所謂「肥後もつこす」という一途さを、崇高なまでの純一無雜の信心へと高めた大智禪師のお徳が偲ばれる。もし、歴史の歯車が菊池一族の方に回っていたならば、仏法を土台に据えた素晴らしい国が誕生していたのではないだろうか。

しかし、時代の流れは菊池一族の方へは流れなかった。聖護寺も菊池一族と命運を共にし、霜雪の中に姿を消して行くのであった。

悲願の法灯が消え大凡五百年、再び灯びが燈されたのは、昭和に入ってからである。昭和十七年村上素道老師は徒手空拳鳳山に山居され、苦心経営二十余年、中興に必死の努力を傾けられ古刹に相応しい堂塔伽藍を整えられ、昭和三十九年暮九十歳で遷化された。その後は、法嗣鈴木素田老師が継承、無檀無縁の寺では難事とされた、全国にもめずらしい本格的な宝篋印塔の建立、奈良薬師寺の

仏足を頂いての仏足蹟の勸請を成就された。この間僅か十年、過労に依るものか、五十八歳で本師素道老師の後を追われた。

そして今、菊池市内を托鉢する、黒染衣に草鞋ばきの雲水の姿が一つの風景となった。伊予瑞應寺専門僧堂、橋崎一光老師門下の修行僧である。禅道場聖護寺が蘇ったのである。深山の風光そのまま、電気・ガス・電話等の通わぬ山中、外国人雲水を含む修行僧の生活もまた古風を思慕する。

大智禪師には、中国人僧と日本人僧とが共に修行の出来る道場を創設しようという夢があったと云う。欧米の合理主義を中心とした文明社会は行き詰まり、禪に身を投じる青い目の雲水は後を断たない。

大智禪師、菊池一族の仏国土現成の夢再び、国際的規模の中に、禅道場「聖護寺」の復活が胎動し始めたのである。

# ☆環境問題特集—その5—

## シャボン玉石鹸について

### ○出来るまで1週間

わずか4～5時間で出来る中和法と違って、昔ながらのケン化法でつくっています。使う人の身になって、何度も熟成をおこない、1週間かけてつくります。保湿成分を含んだ、手づくりのような、お肌にやさしい石けんが生まれます。特に、ヒフの弱い人の肌着洗いや浴用、洗顔、洗髪に最適な石けんです。

### ○生態系にリサイクル

家庭排水として流された石けん水は、一日で水と二酸化炭素に分解され、石けんカスは微生物の栄養源へ、そして最終的には魚のエサとなります。つまり無添剤石けんは、環境を汚染するどころか、生態系にうまくリサイクルされているというわけです。

### ○ねずみも知っている安全性

以前は、ネズミが石けんをかじるということがありました。でも、合成洗剤や添剤を加えた石けんが登場してからは、そのような光景を見ることはなくなりました。ネズミも安心してかじられる無添剤石けんは、それだけ安全であるということの証なのです。

### ○ふっくらした洗い上がり

良質の天然油脂を原料にした、純石けん分99%の無添加石けんですから、汚れ落ちは抜群で、しかも洗い上がりがとてもソフトです。柔軟剤はいりません。木綿からウール、シルクまでなんでも洗えます。自然の白さが特長です。

曹洞宗専門  
法衣・仏具  
梅花流法具

衣

株式会社 志田野福藏商店

〒604 京都市中央区高倉通御池南入  
TEL 075(221)1455(代) FAX 075-221-7811  
フリーダイヤル 0120-1455-07

☆今話題のインターネットとは??

# インターネットの世界を のぞいてみよう! (その5)

## 電子メールとは

インターネットの魅力の一つは、どんなに遠い場所でもコミュニケーションが可能になるということです。それを実現するインターネットの機能が「電子メール」です。電子メールは、「e-mail」などとも呼ばれ、コンピュータを通じてメッセージを交換するシステムのことを指します。

最近では、会社案内や名刺などに電話番号・FAX番号と並んで「\*\*\*@\*\*\*.ne.jp」という記号が入ったものを見かけることがあります。この文字列が電子メールのアドレスであり、世界中でただひとつしかない固有な文字列なのです。なお、@はアットマークと読み、atを意味します。また最後のjpはJapanを意味します。

会社においては、簡単な挨拶やお礼、スケジュールの調整、報告事項、連絡などの日常業務に幅広く普及しており、無くてはならないものの一つになっているといっても良いでしょう。

手紙のように形式ばって手間や時間がかからない、また電話のように相手の忙しい時間に突然割り込むことが無いというメリットがあります。

## 電子メールのしくみ

電子メールの仕組みは、郵便の私書箱のしくみとほぼ同じです。普通の郵便と異なることは、送信されたメッセージが直接相手のコンピュータの中に飛び込んでいくわけではないところです。郵便物は各家庭まで届けてもらえるのですが、電子メールは「郵便局留め」ならぬ、相手の加入している「プロバイダ留め」になります。つまり、相手が自分で「プロバイダ」までメールを取りに行かなければなりません。

手元にあるパソコンからメールを読むためには、プロバイダに電話（ダイヤルアップ接続）をし、プロバイダのメールサーバーに接続します。メールが届いていると、メールがプロバイダから自分のパソコンの中に転送されて、内容を読むことが出来ます。

「メールサーバー」とは、メールを管理するシステムで、メール送信を担当する「SMTPサーバー」と、メール受信を担当する「POP3」サーバーがあり、どちらも電子メールの送受信に欠かせない働きをしています。(図1参照)

この連載の第3回目で書きましたが、プロバイダと契約すると、アカウントやパスワードの他に、メールサーバーの設定も送られてきます。

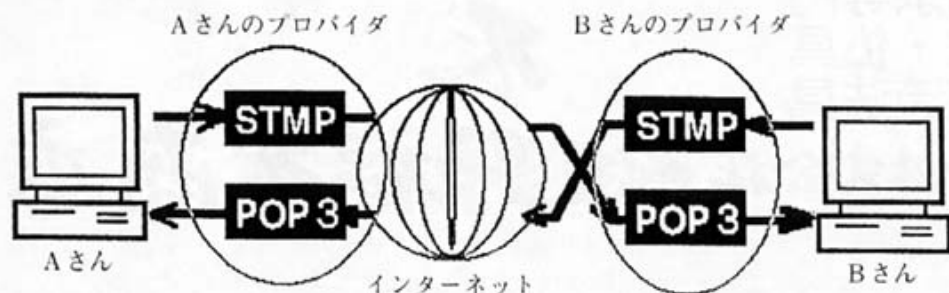


図1 メール送受信のしくみ



## 電子メールソフトの設定

電子メールを利用するには、パソコン、モデム、電話回線などの機械の他に、プロバイダとの契約、電子メールソフトが必要です。

電子メールソフトは、「インターネットメール」や「Outlook Express」、「Netscape Messenger」、「Eudora」、「Post Pet」など様々なものがあります。主要なソフトならばどれを使っても大丈夫です。ただし、バージョンアップされている場合は最新版を使うほうが良いでしょう。

電子メールソフトは、「SMTP サーバー」へメールを送信したり、「POP3 サーバー」から届いたメールを受信する役割をします。

また、届いたメールには、その相手への返信、第三者への転送が簡単にできるように工夫されています。それらの機能を十分に引き出すように、プロバイダから割り当てられた「ユーザー ID」「パスワード」「SMTP サーバー名」「POP3 サーバー名」の初期設定は慎重に行います。また、インターネットは国際的な通信手段ですので、自分の名前はできれば半角のローマ字で入力した方が良いでしょう。

電子メールソフトを初めに使う時には、自動的にこれらの項目を入力する画面が現れます。メモなどまとめて記入しておく、スムーズに設定が進むと思います。

## 電子メールの可能性

電子メールは、「メーリングリスト」や「メールニュース」などの情報収集手段としてとても有益なものがあります。「メーリングリスト」とは同じ文書を複数の人に送る「同時配信」を利用して、特定の仲間にメッセージを共有するシステムです。仲間のある人がメッセージを投稿すると、それが仲間全員に配信され、その仲間の誰かがそれに答え、徐々に話題が広がっていきます。なにか疑問があれば、何人かがそれに答えてくれるでしょうし、幅広い視点からの情報を得ることができるのです。

一方、「メールニュース」は新聞社や出版社などの情報が、随時複数の人に配信されるサービスです。こちらは一方方向の情報ですが、新鮮な情報が得られるメリットがあります。

私たち青年僧侶にとっても、使い方によっては有用なコミュニケーションの手段と言えるのではないのでしょうか。

## 電子メールのエチケット

最後に、電子メールを使う際のエチケットについて、幾つかご紹介したいと思います。

### (1) メールはできるだけ簡潔に

数百kバイト以上の巨大なファイルはなるべく避けるべきだといえます。重要なファイルならばあらかじめ相手に断っておいたほうが良いでしょう。

手紙のように時候の挨拶からはじまるような形式ばった書式も、メールには不似合いかもしれません。前略からはじまって、いきなり本題に入る形式が一般的と言えます。

### (2) 適当なところで改行を

一行をあまりだらだらと長くつづけると、場合によっては相手にとても読みづらいメールになる可能性があります。メールソフトによっては勝手な位置で改行をしてしまうものもあります。したがって、36文字程度で予め改行しておくことも心遣いのひとつと言えます。

**(3) 半角カナや、特殊な記号を用いない**

アイウエオといった半角のカタカナ文字は、インターネットの世界では使わないのが常識です。また①②③といった記号や信濃記といった特殊文字も、相手には上手く伝わらない場合があります。

**(4) 署名は簡潔かつ確実に**

メールの最後には、送信者のサインを挿入するのが良いでしょう。海外にも通用するようにローマ字の署名にしたほうがより良いと思います。

電子メールのルールについては、自然に身につけていきますので、あまり構える必要も無いと思います。

以上、電子メールの概要について簡単にまとめさせていただきました。(不尽)

## パソコン格闘記 ～Windows98導入～

いよいよ Windows98が発売されました。世間では賛否両論が飛び交っています。ご多分に漏れず、私も導入してしまいました。

そもそも Windows98とは、パソコンのオペレーティングシステム (以下OS) の名前です。パソコンは機械のみでは何もできません。画面に表示することすらできません。OSとはこの赤ん坊のようなパソコンが作業をするための基本的な知識 (プログラム) の事をいいます。OSは電源を入れた後で使用が可能な知識を取り込む機能、キーボードや画面などの入力、プリンタなどの出力を可能とする機能、市販されているワープロ、表計算、通信などの業務で使うソフトをパソコンで使用可能とする機能を持っています。いわば、パソコンと利用者の仲立ち、パソコンと各種のソフトの仲立ちをする機能をもっているといえましょう。

パソコンで有名なOSはいくつかの種類の種類があります。一つは今回取り上げた Windows95/98に代表される一般用のもの。見た目は Windows95/98に酷似しているけど、中身は別物の WindowsNT。俗にマック (MAC) と呼ばれているマッキントッシュ用OS。最近、ユーザーが増えてきている Linux、FreeBSD等のPC-UNIX系。まだまだ、たくさんありますが、あまり一般的ではありませんので、略します。

最近のパソコンは発売時には最新のOSが搭載されています。しかし、つい3ヶ月前位までに発売された Windows系のパソコンには Windows95が搭載されていると思われます。そのような機種には最新の Windows98を別に購入して搭載することが可能です。(但し、機械の性能によっては搭載不可能なものもあります) さて、これから Windows98を導入しようと思っている方もいらっしゃると思います。そこで、Windows98をインストールしてみた感想を書きたいと思います。

導入には大まかに2種類の方法があります。今までに使っていた Windows95に上書きもして、アップグレードをする方法。全く新規にインストールする方法 (クリーン・インストール)。その各方法ごとの Windows98が売られています。

前者は今までの環境をほぼ引き継いでくれるので、導入後すぐに今までの通り使うことができます。おそ

寺院向け管理プログラム  
しゃじくん開発中!  
for Windows  
(来春発売予定)

※ 詳細については  
お問い合わせ下さい

山門・鐘楼堂の設計・施工  
樺製寺院仏具の製作・販売

株式会社 **しゃじ**

☎0188-65-6077

〒010-0956 秋田市山王臨海町3-37

FAX 0188-64-1093



らく多くの方はこちらではないでしょうか？

後者は、Windows95のしがらみ、ゴミ等を無くして、純粹(?)なWindows98環境からスタート出来ます。

また、大事なデータはフロッピーやMOなどにバックアップしてから作業に入ったほうがよろしいかと思えます。

導入作業は特に難しいことはありません。画面の指示に従って選択・確定をしていけばOKです。Windows95を自分で入れた方なら問題無いでしょう。

さて、私はふだん使っているメインマシンにはクリーン・インストール、サブマシンにはアップグレード版を導入することにしました。取りあえず、メインに使っているパソコンへインストールしました。

このパソコンは、起動用のHDDを脱着可能なケースへ入れていて、OSごとにHDDを交換して使っているの、Windows98用に購入してきたHDDを初期化して、作業へと入りました。

また、その後、サブとして使っているマシンのWindows95をWindows98へアップグレードしてみました。

うまくインストール(アップグレード)できない、等の意見が交わされているようですが、私の場合はどちらも実にあっけなくインストール(アップグレード)できました。Windows95からアップグレードをした場合、インターネット接続のダイヤルアップの設定はうまく引き継ぎされないことがあるそうですが、今のところ特に不具合はありません。

ただ、クリーン・インストールをした方は、若干のテクニック(というほどのものでもありませんが)をつかいました。起動用のフロッピーディスクではCD-ROMが強制的にドライブ名が「Dドライブ」になってしまうので、HDDを何台も接続している場合、ドライブ名がずれてしまい、途中でインストール不能になってしまいました。私はCドライブ以外のHDDをはずしてインストールしました。

また、メインのパソコンは性能的に高性能なマシンですが、それでもWindows98の売りの一つである「アクティブデスクトップ」や、「アニメーションメニュー」等は、結構システムに負荷がかかり、処理が遅くなってしまうので機能を切っています。

USB<sup>1</sup>は正式にサポートされましたので、USB機器は実にすんなり動いてしまいます。ターミナルアダプタ<sup>2</sup>をUSB接続してみたら、128のバルク転送<sup>3</sup>もばっちり出来ました。

また、ビデオ会議用のCCDカメラもプリンタ端子へ接続するものからUSB接続カメラへと変えてみました。今まではキーボードの端子から電源をとり、プリンタとその都度付け替えていましたが、USBはホットプラグ<sup>4</sup>なので、使いたいときに差し込めば、OKです。フレームレートも文句なしです。

ただ、カメラとターミナルアダプタ、どちらもUSB接続だと不安定になってしまいましたけど…。

また、モバイル用のサブノート・パソコンはWindows95のままです。このノートにもUSB端子があれば、もしかしたら入れていたかもしれませんが、Windows98を「快適に」動かすには少々非力だと思ひました。

現在、Windows95のOSR2.1をお使いの方で、USB機器を使うとかでしたらともかく、特に必要無ければ急いでWindows98にしなくてもよろしいのではないのでしょうか。

最後に、Windows98を入れる前に、今ごろのパソコン雑誌には情報がたくさん出ていますので、参考にするとか、出来ましたらご自分の使っているパソコンのデバイス(プリンタ、スキャナ、モデム、ターミナルアダプタ、ビデオカード等)の各メーカーのホームページ等で情報を仕入れたりした方が、すんなり導入できると思ひます。

また、NECのPC-98xxシリーズをお使いの方は、NECより「NEC PC サポートキット for Windows (R)98」が必要らしいので、販売店などに相談されるのがよろしいでしょう。

<sup>1</sup>UniversalSerialBus コンピュータにキーボード、マウスなどの比較的低速な汎用機器を接続するための規格。新しい規格のため、接続用の機器はこれから増えてくると思ひられます。

<sup>2</sup>従来の電話機やモデム、FAX等のアナログ回線機器をINS64等のデジタル回線にて使用するための変換装置。

<sup>3</sup>INS64は1契約で2回線同時使用が出来ます。例えば、電話を使っているながらパソコン通信をしたり、FAXを送受信出来ます。INS64は1回線あたり64Kbpsという転送速度ですが、この2回線を同時に使う事により、理論上2倍の転送速度が出せます。大きなファイルを送受信するときに、半分の時間で済む事が

出来ます。ただし、電話料金もその分かかりますけど。

「電話を切らずに、いつでも抜き差しできること。」

## ～パソコン通信研究委員会からのお知らせ～

全曹青パソコン通信研究委員会では、「曹青通信号外」「ネット全曹青」で現在告知している通り、ネット全曹青を閉鎖し、同趣旨のものを全曹青ホームページに作成する方向で検討をすすめております。

(その理由として)

1. Windowsが普及した現在においては、殆どの操作がマウスで為されるため、PC-VANのようなパソコン通信上で、コマンド入力を理解するのが難しい。
2. 既にインターネットのプロバイダと契約されている方は、ネット全曹青のためだけにBiglobeに新規契約をしなければならない。
3. 上記のことからすると、これ以上新規に会員が増えることは見込めないと思われる。
4. ネット全曹青の現会員は、現状のままでも、Biglobeよりインターネットに接続できる。

という4点があげられます。)

現在、全曹青ホームページ上に試験運用として、「掲示板」を設置しております。本稼動時には会員の入室管理まで行う予定です。

インターネットが見られる方ならだれでも記入が可能なものです。是非、「掲示板」の利用をお願いいたします。また、移行に関するご意見も掲示板へ記入願います。

移行スケジュール

全曹青ホームページURL

試験運用 H10.9より

<http://www.jtvan.co.jp/~soto> (こちらより掲示板を利用できます)

本稼動 H11.1より

両大本山御用達 曹洞宗専門  
株式会社 谷口法衣佛具店  
〒606 京都市下京区高辻通麩屋町東入  
電話 京都075(351)9741代  
FAX 京都075(351)9692  
梅花講御指定販売店



谷口法衣仏具店ならではの…  
技の粋  
御法衣、御袈裟、御仏具、  
荘嚴具、記念品

寺院用佛具・佛壇・製造販売  
曹洞宗梅花流法具販売指定店



ほう こう  
放 光

本店・工場	〒940-0825	長岡市高畑町617番地	☎(0258)33-5644
新潟店	〒951-8142	新潟市関屋大川1-11-2	☎(025)233-4493
川越店	〒350-1124	川越市新宿町1-23-2	☎(0492)44-7741
高崎営業所	〒370-0046	群馬県高崎市江木町1179-2	☎(027)324-3721
長野営業所	〒380-0911	長野県長野市稲葉1980-1	☎(026)222-3811

連載

利他行

## 六、『言葉の練磨』



元駒沢女子短期大学教授 太田 久紀

「洞門の人は話がうまい」と誉められて頭をかいている和尚があつた。誉められても、話上手は両手を挙げて喜べない気風が禅門にはある。

「問題は実践実行、話は下手で結構」と考えているからである。

しかし、利他行は、そういつてはおられない。極端に言えば、利他行は言葉の布施行だといつてもよい。

しかも利他行は、菩薩道にとつて、内から横溢する慈悲の行為であるにしても、あるいは義務的な疑似利他行であるにしても、菩薩道完成には不可欠の必須徳目である。

○ 利他行の代表は、布施行である。

布施行については、われわれは、「四摂法」の巻によって高度にして

本質的な教説に触れることができる。

「布施とは不貪である。不貪とはむさばらないこと。それはへつらわな

いことだ。」「自を自にほどこす」

「かれの報酬を求めず」「自分の持つ力をわかつこと」「はなを風にまかせ、鳥をときにまかせ」などなど、比類のない美しい布施論である。

○ 布施行は唯識では財施・無畏施・

法施の三種に分けられる。

「財施」は、他の身のためにものを施し、よろこびを分かちあうこと。

「無畏施」は、他の身・心のために、不安や恐怖を克服する人生観を施すこと。

「法施」は仏教の真実や、その生き方を布施することである。(『成唯識論述記』)

「無畏施」も「法施」も、人生観や真理の教えとの出会いを布施するのであるから、いずれも「言葉」の

布施といつてよい。言葉が重要な意味を持つている。

唯識では、言葉は無実体・無自性という否定的な一面を見る見方と、言葉を尊重し、肯定的に見る一面との二面が示される。

○ 言葉の無自性・無実体を強調し否定的に見る段階が、加行位と通達位との関係に見られる。

【注】菩薩の修行の五位Ⅱ資糧位・加行位・通達位・修習位・究竟位

「加行位」は、言葉の無自性・無実体という空無性が主張されるところ。要点は、A「四尋思」B「現前立少物」の二点にまとめることができる。

A「四尋思」は名・義、自性・差別について観察を集中する段階、要は、「言葉」とその「意味」は、固定的なものでも絶対的なものでもないという省察を深めるのである。その白覚の深まりを、四段階に分けて説明する。

一、「所取無」を観察する。言葉やその意味は、縁によって生じるものだから無自性・無実体であるとの観察をここで掘り下げる。

二、「所取無」の観察をさらに重ね、言葉の無自性・無実体を深める。

三、「所取無」を確証し、新しく「能取無」を求める。言葉の無自性・無実体であることを確定し新しく「能取無」を求める。言葉の無自性・無実体であることを確定し、さらにその主観もまた無自性・無実体であるとの観察の範囲を拡げる。

四、「所取」「能取」、ともに無自性であることを確定し、客観も主観も無であることを刻みこむ。

以上のように言葉の無自性・無実体を確証するのが四尋思である。

まず客観(所取)の無から始め、次いで主観(能取)の無へと省察の範囲を拡げる。それによって、言葉やその意味による拘束を離れる。つまり自己中心的な偏見や先入観が根底的に打破され、言葉のしがらみを離脱する。そこで初めて花を風にまかせ、鳥をときにまかせというような本質的な布施行が成立する。

一唯識は、どこまで存在の真実の認識できるか疑問視するが――

○ B「現前立少物」とは、しかもそのように言葉の無実体の省察を深めているにもかかわらず、なおかつ言葉や意味づけを实体化する性癖は執拗に残存するというのである。言葉は仮有実無のものといふ極めな

がら、その無を対象化し実体化し、「有」にすりかえて執着する。それを「少物を立てる」という。そこで徹底的な、言葉やその意味の実体化の壊滅が求められるのである。

言葉が実体化される限り、認識は一つの意味づけを離れることはできず、そこに拘束されてしまう。

言葉の空無性は「通達位」との関係に進む。

言葉を、根底から否定する力を持つのは、通達位の根本無分別智だといふ。

根本無分別智は、無自性・無実体の真理と一体となる直観智であり、それによって言葉の実体化・固定化を徹底的に打破する。無分別智のみが、それをよくなし得る。

加行位、通達位の二段階の修行で、実体化された言葉は消える。言葉は実体性を失うが、消えるのは固定化された言葉や意味、つまり分別であつて、存在までが消えるのではないし、意識がなくなつたり、恍惚状態になつたりするでもない。言葉の対象化・実体化の習癖が否定される。

そこで問題は、次に根本智と後得智の関係へと移る。

無分別智は、即刻、後得智へ展開するものと説かれる。

言葉の実体化を離れた無分別智は、直ちに言葉を回復するという。

瞬間、無分別智によって根源的に無自性・無実体のものでして否定された言葉は、即時に回復し即時に現実界が復活する。それを後得智といふ、後得智が働くことによつて利他行や菩薩道が成立する。

その展開を、唯識は独自の四分義の教説で説く。

四分義とは、見分(主観)と相分(客観)とは不可欠であることを論述する教説であるが、見・相分の有無によつて根本智と後得智とを区別するところは興味深い。

「根本無分別智」は、相分Ⅱ無、見分Ⅱ有といふ。無分別智は真理と

一体となるので、客観(相分)は無となる。しかし真理と一体となる体験は否定できないから、主観(見分)は有といわざるをえない。宏智正覚の「不触事而知」(「坐禅箴」)の構造がそこに顕現する。

それに対して後得智は見分Ⅱ有、相分Ⅱ有になるといふ。

つまりわれわれの通常の認識の構造がもどつて、分別(言葉)が立ち現われるのである。

後得智に見分・相分がもどつてくるといふのは、言葉が回復し、意味が復活するということである。

一度、加行位から通達位にかけて、無自性・無実体の約束事として徹底的に否定された言葉が、生き返つてくることを意味する。生き返つてこなければ菩薩道は実現しない。

加行位から通達位にかけて否定的に掘り下げられた言葉は、根本智から後得智という展開によつて、利他行として蘇生する。

無畏施も法施も改めて言葉としての機能をとりもどし、現実に関わることになる。

一つの言葉との出会いが、人の一生を百八十度、回転させることがある。

利他行は、言葉の選択と練磨により、利他行の意味を深める。



和顔堂に足らぬもの三つ

あいがたいと言ふ心

おかげさまと言ふ心

もったいなくと言ふ心

◆ 営業品目 ◆

寺院専用各種記念品・慶弔用品・御布施用品・お供物品  
その他寺院用品全般・結婚式引き出物・香典返し用品  
企業及び商店PR用品・販売促進品・ギフト用品全般・名入れ・包装のし掛け



わげんどう  
和顔愛語の和顔堂

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-7-4

TEL 03-3490-1061 (代)  
FAX 03-3490-1061  
TEL 0120-7676-00

# 仏法伝道の二大障碍

## 特別寄稿

仏教振興財団理事長 井 上 信 一

はじめに

以前「曹青通信」にご縁があつて連載をさせて頂きましたが、この度東井広報委員長から改めて懇ろな御依頼があり、拙著「地球を救う経済学―仏教からの提言」の英訳本を含め最近の思いを述べよということで、再び会員の皆様のお目を汚すことになりました。

私の家は熊本の出で曹洞宗でありますので「修証義は」論じており、その日の数に依りて朔日には第一章、二日には第二章というように仏前で誦しています。小学五・六年の時両親が続いて亡くなり、お坊さまが七日毎にお経をあげて下さるのに、修証義第一章「紅顔いずくへか去りにし尋ねんとするに蹤跡なし」の所が厭イヤでいやでたまらず、聴くまいとすればなお耳に飛びこんで来るといふ訳で、私の求道の端緒となりました。ずっと後になって考えると、一番始めにある「生死の中に仏あれば生死なし」に完全な解答があつたのに、小学校・中学校の子供には無理なこ

とでした。

その後大学の時、門前の古本屋で倉田百二の講演録「生活と一枚の宗教」にめぐりあい、脊髄カリエスの為長く病床にあつた著者が自分の生きる根拠に悩んだ警句、人間が太陽・空気などの恵みに浴し野菜や肉という命を喰べるのは生きる資格があつてではなく唯「許されている」だけである、人間は許されているという点で万人平等であると気付いて一八〇度の転換(回心)をしたことに心底びつくりしました。それが私の回心でもありました。それにより他力の教・親□聖人を知り、今では親鸞氣違ひのように云われていますが、私は自力と他力とは全く同じだと信じています。「正法眼蔵―生死の巻」に「たゞわが身をも心をも放ち忘れて仏の家に投げ入れて仏の方より行われて、これに従いもて行く時、力を入れず心をも費さずして生死を離れ仏となる」と示された通りです。ですから私にとり道元様と親鸞様とは生涯のお師匠様であります。

銀行員として四十年働きましたが、お二人から離れたことはなく、他の方にも私の回心の喜びをお伝えしたいとかまきりの斧をふり廻して来た結果が今回の「仏教伝道文化賞」を頂戴するという恐れ多いことになったのでしよう。

### ○仏法伝道の大邪魔もの

白隠禪師が江戸時代沼津の近くの原で熱心に布教しておられた頃、門前に一軒の餅屋がありました(作り話だろうと思いますが)。

白隠が「隻手の声を聴け」という有名な公案を掲げて説教をしているのをもじって、餅屋の主人が一句よみました。

白隠の片手の声をきくよりも、両手叩いて商アヤいをせよ

この(狂)歌が皆様のご熱心な布教の前にそれこそ両手を開いて立ち足はだかっているとお考えになりませんか? 西鶴の書いたものにも「商人の仏いじり(信仰)は五十才過ぎてから」とあるそうですから、明治前からのわが国経済人の根性なのかも知れませぬ。

それが明治の廃仏毀釈、今次敗戦後の米國文明の占領と二段飛びで強化されたのが現状ではありません

寺院用品・法衣・袈裟・金襴・諸經典発行・佛壇・佛具

総合仏具店

# 中 居 堂

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目10番32号  
代表電話/仙台022(225)4495番  
FAX専用/仙台022(225)4490番

か？

敗戦から二度目の正月、当時は参賀の人影もなかった二重橋前で私が思ったことは次の如くでした。

私ども日本人は力と名の付くものは皆失ってしまった。これからは一人一人が外国人に感心されるようなものを身に付け、それによって力によらず外国に尊敬されて生きていくしかない。それとは仏教ではなからうか？しかし、そこにも餅屋の精神は通せん棒をしていました。しかも間もなく日本人は経済という力を手に入れたのです。皆様が布教されるにはこの経済という力の正体を見破らずには不可能であります。

幸か不幸か今から四半世紀前に援軍が現われました。ボン生まれの英国の経済学者でシューマツハという人が「スモール・イズ・ビューティフル（小さいことが素晴らしい）（講談社学術文庫）」という本を書き、その中に「仏教経済学」という一章を設けました。彼は熱心なクリスチャンですが、ミヤンマー（当時のビルマ）に経済開発の顧問として英政府から派遣され、初めて仏教文化の素暗らしさに目を開きます。こんな文化を持つ国民が欧米経済学で開発をしようなどとは愚の骨頂である。独

自の途を拓くべきだと力説しますが、英政府もビルマ当局も関心を示しません。

やむなく帰国の上出版したのが上記の本でした。（一九七三年初版）

○欧米経済学の変革なくして廿一世

紀なし（第二の障壁）

シューマツハが小さいことと云つたのは人間がその小を自覚し己を超えた大いなるもの（神・仏・自然・宇宙何でも）に対する畏敬の念を持つことを意味します。経済が科学技術の発達を背景に大きな力を発揮し、それに伴って人間が尊大となり、自分の欲望を無限に達成することが幸福であると思ひ込んでしまった所に、二十世紀と地球との危機の本質があるとシューマツハは見抜き欲望無限の経済学を克服しようと試みたのが前述の「仏教経済学」の一章です。ところがその後本は翻訳され広く読まれたけども廿年以上の間仏教文化へのこの偉大なるラヴコールに應じる木霊が日本に鳴らなかつたというのには実に不思議なことでした。

ず存在したという事実を「仏教的経営」（絶版）「仏教経営学入門」（こま書房一、二〇〇円）で明らかにし、その事実の上に上記「地球を救う経済学」（鈴木出版一、八〇〇円）がまとめられました。その中の幸福の分子式が環境庁の新設「地球環境部長」から野に下つて環境改善の実践・研究に既に五年間挺身しておられる加藤三郎氏のお目にとまり、併せて能賢なる曹洞宗の法名を持つ日本仏教研究の若き俊秀ダンカン・ウイリヤムズ氏の紹介をいいただき、講談社インターナショナルの英訳・出版が一年間で達成されました。内容は直訳でなく、上記二冊が融合され、米国人の理解しやうい様に配慮された名訳、題名も *Pruning Point* *Pruning to Work* 私など最初何んのことかと眼を白黒させました。

財(カ)望  
欲 = 幸せ

知る」と欲望に歯止めをかけますから、実質幸福度はむしろ高くさえあるでしょう。因みにこの分子式は英国の大経済学者、スミス・リカード・ミルとつながる J・S・ミルの親友で「フランス革命史」の著者、経済学を陰鬱な科学デイズマル・サイエンスと呼んだことが今も英和辞書に伝えられているカーライルの作と私は記憶していますが、出典が判らないので、ご存知の方はお教え下さい。

廿一世紀を生きのびるには、人間の欲望肥大を抑えなければ地球は破滅してしまいます。

その点で欧米経済学は失格です。その経済学の裏にはキリスト教的世間観があり、バイブル創世記篇には「神が人間の祖先アダムとエヴァとに地（球）を従わせ、その上に生き物をも治めさせた」と記されています。人間が神を除けば一番えらいというのです。

それに対し仏典には「草木国土悉く成仏」と、無機物までもが人と同じ命を生きていると説いています。これこそが廿一世紀の思想であるべきでしょう。

私をはじめ試みたことは前に述べた経済人の仏教食わず嫌いを正す為に、徳川時代から今日まで仏教精神により経営を行った人々が少から



## ○万人平等の幸せを

六五年もの間仏教にお育て頂いて、私が泌々思うことは、積尊の願いは万人平等の幸せを明かにすることだったのです。いや他の宗教も同様ではないでしょうか？その共通なるものを示すものとして、「永遠の命」という言葉が適わしいように思いますが、今回はこれ以上深入りしません。

積尊が非常なエリートでしたから、これに憧れる人がエリートを目ざすことも当然です。

そこでエリート主義が広まることも非難できません。しかし積尊は苦を去るといふ目標をあげ、この単純明快な幸福がすべての人に可能であることを証明するために周梨賢特というお弟子を育てられ、現代には妙好人という人間像を残されたのだと思います。(妙好人は浮土真宗の言葉)

アダム・スミスは英国人らしく幸せの定義を具体的に示しています。(それが何か？読者はご推測下さい。)しかし人々は「国富論」の説明に従って、自分の利益を自由に求める競争に勝つことが幸せだと思込んでしまいました。そしてその幸せは数字(特にカネ)で現わされねばならぬと信じているようです。

ですからいつまでも上限がなく、絶えず不平がつきまといまいます。ここで

西欧の自由とはつかまえる自由であり、東洋(仏教)の自由は、解き放たれる自由であることに注意しましょう。それが英訳本の結論です。

「修証義」の第一章にある「今吾ら宿善の助くるに依りて己に受け難き人身を受けたるのみに非ず、遇い難き仏法に値い奉れり」こそ私共の幸福の根本たる感謝の心であり、アリガタイの言葉であります。それは確かに万人平等の幸せの要(かなめ)です。

が、強烈なエゴがそれを忘れさせる。その為に第二章は一切衆生を證入せしめる拡大の慈門、懺悔(スマナイの言葉)を準備下さっています。これがセットされ私どもの根本的落付き万人平等の幸せは確保されるものと私は考えており、私流には二つの気付き(1)許され(生かされ)ていることに気付く(アリガタイ)(2)この事実気付く(アツク)こと(エゴ)の自分に気付く(スマナイ)と称してあります。浄土教では二種深信(心)と云い、積尊最期のみ教では(1)法灯明(2)自灯明となっています。(曾我量深著「愚禿親鸞」より)

## 【英訳本の概要】

## ○第一章 何故今仏教経済学か？

医学の専門化が患者を忘れさせているように、経済学も同様だ。人間にとり一番大事な価値は何か？現在欧米の世界観は余りに人間中心だが、仏教のそれは宇宙中心(聖徳太子の「世間虚仮、唯仏是真」↓人間の欲望はそもそも空しい)伊庭貞剛(住友二代目総理事)の「君子財を受す。是を取るに道あり」(無尽灯論)こそ本書の姿勢。

## ○第二章 仏教経済学の開拓。経済学は自然科学にあらず。人文科学でもある。

○第三章 経済学のおとし穴。経済学を学ぶのは受け売りの解答を得ることではなく、いかにして経済学に騙されるのを避けるかを知ることである。(英国の女性経済学ロビンソン)

若者が東京に集るのも騙され現象の一つだ。

## ○第四章 経済学説略史。

経済学ノーベル賞で米国はいかに圧倒的か。ドイツのレプケのヒューマニズムの経済学とその影響を受け

た社会的市場経済は私どもの将来に参考になる。

## ○第五章 仏教経済学の三特長。

(1)自利利他円満(親鸞和讃) 利行は一法なり、善く自他を利用するなり(修証義)。

(2)不殺生(平和) 戒。アソカ王。

わが国は平安時代の末まで二、三百年間軍隊と死刑がなかった。(3)地球を救う(前述)。

仏教経済史(中道と現世尊重。右脳の重視)。

## ○第六章 商業・工業の実際面。

徳川時代における自前の資本主義。就中曹洞禅僧鈴木正三。安田善次郎の傑出と竹村吉右衛門(安田生命)への伝承。利行は一法なりの実例―自動車王フォード・YKKの吉田忠雄・富士ダイスの新庄鷹彦。幸せの分子式。二つの気付き(前出)。実践者として仏教伝道協会の沼田恵範・智秀父子。宮崎交通の岩切章太郎。

## ○第七章 環境問題。

すべては宇宙からの仏性ある預り物。環境教育の必要と徳島における嵯峨教論の実践。環境の観点からす

る産業の順位表(川崎市の実例)。  
農業は地球に優しい産業。宮中での  
お田植・刈取りは日本産業への天皇  
階下の祈り。井上ひさし著『米のは  
なし』就中棚田の重要性。もう一つ  
の農業の再認識例としての『山地酪  
農』とそこにおける(国連大学命名  
の)廃棄物ゼロ経済。

### ○第八章 消費とリサイクル。

生存欲に対し仏教は中立的。少欲  
知足(前出)消費者の為の競争は公  
的性格をもつ(花王の丸田芳郎)読  
売新聞正力松太郎もこの精神で大を  
なした。

カネに対する仏教的経営者の姿勢  
―カネの貸付と利息とは僧院運営の  
ためには認められ、無尽↓相互銀行  
↓第二地方銀行の淵源となる。

三笠会館の谷善之丞は自らをカネ  
の流れのパイプ役を以って任じた。  
前述安田善次郎は日本一の金持とな  
ったが、誠実と節度をモットーとし  
た。

勿体ないは予りもの思想から生  
まれるが、これを屎尿の完全リサイ  
クルに実現したのが西原環境衛生研  
究所の西原脩三。

### ○第九章 労働・福祉・組合。

一日作さざれば一日食わずが  
禪の労働観。道元もそれを中国で学  
ぶ(坐禪・読経より労働が修行)。

西欧の労働観は神の懲罰(アダム・  
エヴァの天国追放)『六方礼経』は  
労使も法の下に平等なことを示す。

『法句経』は家計は布施を前提に組  
むべきを説く。さらにカネなしの布  
施(席を譲り、笑顔で応じるなど)

社会福祉はアソカ王・聖徳太子以  
来の伝統。明治以降、清沢満之は仏  
教の慈善を憐憫(あわれみ)と峻別  
した。

労働自体が仏行であり、働く健康  
と意欲とある者は何才までも働いて  
貰うという企業が現われた。協和醗  
酵工業・第一建築サービス・星野物  
産・富士ダイスなど、協和醗酵工業

の加藤辨三郎は経営における縁を重  
視、社長はその中の一節にすぎぬと  
自覚。彼はそれを社長として仕えた  
合同酒精の野口喜一郎から学ぶ。こ  
れら経営者に相応する労働組合も生  
れて、協和醗酵の小松乗正、小松製

作所の古田秀雄両委員長が例示され  
る。その精神は対等と協力の両立。  
この新しい労資関係はドイツ・ダル  
ムスタット大学のリユーラップに

よっても説かれ英国の新首相ブレア

によって米国的株主本位の社会から  
関係者全ての為の社会へと提唱され  
ている。それこそ仏教精神である。

### ○第一〇章 結び。

仏教の自由(前出)禪は、応に住  
する所(執われ)なくしてその心を  
生ず(華嚴経)と説き、親鸞は  
『自然法彌』と説いた。仏教の中道  
は資本主義と社会主義との両極を止  
揚し利己心と減私とを止揚して、エ  
ゴ中心、使い捨ての文明を人間と自  
然との融和した永続性ある文明へ移  
行させようとする。まさに仏教が過  
去二五〇〇年人々に気付かせようと  
して来たことの結実である。

### ◎具体的な緊急策の実行を

廿一世紀に対し大きな責任を持つ  
仏教の妨げとなる第一が現行欧米  
経済学であることはお判り頂けたで  
しょう。

第二が寺院の戒名問題です。私の  
妻はいつも私に「善男善女の方々に  
下手な法話を申上げるより、法外な  
戒名料是正の努力をする方が、どれ  
だけ仏法の為になるかわかりません  
よ」と口をすっぱくして意見してく  
れました。

妻への回向として、またこの度の

マシナメライアのNEC

本気にさせる。せ。

スゴイのほいや、い  
風を本気にさせるヤツ  
バリユースター

PC-9821 V230M7

NEC

◎MMX®テクノロジーPentium®プロセッサ搭載※1  
◎3Dアクセラレータ搭載※1 ◎CD-R搭載※2  
◎TV電話機能装備※2

**NEW VALUE STAR**  
バリユースター

PC-9821 V233/M7 標準価格468,000円(税別)より  
その他豊富なラインアップ 標準価格268,000円(税別)より

※1: PC-9821 V16を除く。 ※2: PC-9821 V200/M7 model H2、J2のみ。  
本パーソナルコンピュータは、オペレーティングシステムを標準搭載しています。画面はハマコ目録で。  
\*ご使用の際は、必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
NECグループ

受賞のご恩返しとして是非この事に努力したいと思えます。朝日新聞にこの問題が対談として大きく取上げられ、学者の方の御発言も行われるなど機運は熟しかけているようです。偶、鶴見の大本山總持寺の成田禪師は亡くなられる前の十一月廿四日に檀家總會を開かれ、私共に自由な発言を求められました。私は感激して発言すると同時に願いの骨子を文書にして提出いたしました。

◇ (月刊「住職」二月号参照)

◇ 「西欧の宗教改革では内部からのプロテスタトにより、膿を外に出してキリスト教としての健康を回復しましたが、我国の場合は無力感と不信感とが潜行拡大して病は不治の所へ進行しつつあることが、まことに恐ろしいと存じます。幸い全日仏が深い関心を示され、NHK十月二十八日のクローズアップ現代で取り上げられました。また、「大法輪」九月号ではこれらのことについて三者の連名でアピールした次第であります。貴会員の皆様からの御意見御協力を切にお願い申し上げます。八十になりました老人の最後の御奉公のつもりでありますので。」

(以上)

朝日新聞「ひと」欄より



## — 「仏教伝道文化賞」を受賞した 在家仏教徒 — 井上 信一さん

“親鸞や道元の教えに傾倒し、長年職場などで読書会や講演会を組織するとともに、歎異抄の解説書をはじめ数々の著作で、仏教を経営に生かすことを説いてきた。日本銀行貯蓄推進部長、宮崎銀行頭取などを歴任した元銀行マン（中略）

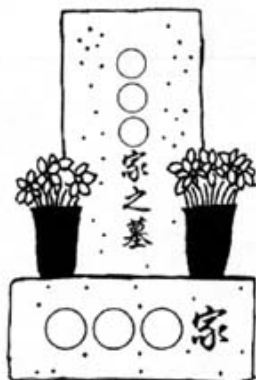
「仏教は『少欲知足』を教え、他人の利益の尊重が結局は自分の利益になるという『自利利他円満』を説く。ゼロ成長でも十分やっていますよ。」そうした考えを記した著書『地球を救う経済学』の英訳も昨年末に出版された。……”

以上のように紹介された。

氏が心配する「戒名料」の件は、今後、宗門寺院として避けては通れない問題である。

大都会と地方、慣習の違い等もあり全国一律では論じられない点もある。しかし、私たちが宗侶として檀信徒一人ひとりに接するかぎり、その責任は等しく双肩に掛かってくる。……

このことについては、皆様方の様々な意見、提案、考え等があると思いますのでどうぞ、広報までFAXにてお寄せ下さい。  
0194-66-2181へ



全曹青

花まつり事業について

全曹青では、「大衆教化の接点を求めて」をテーマに平成三年度より「弔事から慶事への仏教」を目的として、花まつり事業を様々な形で活動を展開し重ねて参りました。

そこで、これまでの花まつり事業の変遷を紹介いたします。

《花まつり事業の変遷》

平成三年 事業開始

(花まつりキャンペーン)

曹青通信第七十三号

第九期会長

木南広峰師所信表明

・我が全曹青の基本課題は、大衆教化の接点を求めて、であります。

この布教化の原点に立ち返る意味からも、

二年間の時間をかけて、生きるための仏教、生

きる支えとしての仏教、

を前面に打ち出し、弔事としての仏教法要で

はなく、慶事としての仏教法要を考えてみた

いのであります。

・花まつり、仏前結婚式

平成四年

活動開始

(花まつりキャンペーン)

・社団法人全国生花商協

会とタイアップ

・ポスター、メッセー

ジカードの配布

平成五年

第十期吉川会長に継続

(花まつりキャンペーン)

曹青通信第八十一号

・生花商協会理事會に参加

・北海道、神奈川、九州にて反響あり

・九州生花商協会理事會に會議参加、協力要請

平成六年

曹青通信第八十四号

(花まつりキャンペーン)

・花まつりキャンペーン

の実施(静岡、大分)

曹青通信第八十五号

・「消すな花まつり」

・「来年度本庁助成はゼロである」

平成七年

阪神淡路大震災

・神戸にて花まつり法要

を開催

平成八年

神戸にて花まつり法要開催(震災遺児支援)

催

平成九年

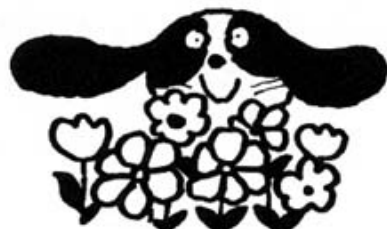
震災遺児支援花まつりコンサート開催(東京にて)

ン

平成十年

多磨全生園にて花まつり

慰霊法要



有限会社  草桶  
法衣仏具店

〒616-8322  
京都市右京区嵯峨野芝野町35  
TEL 075(862)2345 FAX 075(862)2356  
フリーダイヤル 0120-88-3992

次に、曹洞宗教化研修所 書記 勝田哲山氏より「花まつり事業」について助言を頂きましたので紹介します。

## ▲花まつり事業（全国曹洞宗青年会主催）に関する 今後のあり方見直しの為の情報提供と問題提起▼

曹洞宗教化研修所 書記 勝田 哲山

### 一、事例収集（宗門及び他教団の現状活動）

#### ①宗門寺院の一例

法要差定 三会上殿

置茶湯

拈香法語

普同三拜

参・宝（寺族、役員、

婦人会、焼香、灌沐）

同向

普同三拜

◎法要の広報については、一月

の第一週に全檀徒に年間行持

案内を送付し、さらに月参り

を利用して参詣を促す。

当日は、甘茶を多量に用意し、

自由に持ち帰って頂く。

婦りに子どもには、お菓子を

土産に持たせる。

#### ②仏教会主催の一例

十二ヶ寺で毎年輪番制で会場

が移動する。（実際には会場の都

合で四ヶ寺で行っている。）

隔年で稚児行列を実施し、その当番寺まで白象を引きながら練り歩く。

本堂内正中に花御堂を設け、

その両側に横長の燭台を置き父

兄やその稚児に赤いローソクを

立てさせ、さらにお釈迦様に甘

茶をかけさせる。（この時、若干

の若手の僧侶が簡単にそれらの

意味について説明するが、残念

ながらこの時はかなりざわつ

ていてなかなか言うことを聞い

てくれないのが実状である）

一通り灌沐をしてもらった後、

堂頭、もしくは会長導師のもと、

仏教会共通の経典を誦誦し、降

誕会法要を勤める。法要中に各

寺の総代さんに焼香をしてもら

う。

法要了って記念撮影。その後、

稚児装束をとってもらいそれぞ

れに解散。

稚児行列は雨天の場合は中止

だが、その場合は当番寺の責任において法要終了後の説教あるいは講演等を企画する。

上記いずれの場合も、新聞折り込みを入れて地域内に広域的かつ効果的に広報する。また、会場が毎年変更することから循環バスを出して参加し易いサー

ビスを提供している。

③ 仏教布教団体及び他教団の一例

●南無の会

九五年

イタリヤ歌曲と声明による花まつり法要

記念講演 南無の会

会長 松原泰道先生

止揚学園理事 福井光子先生

九六年

※会長は毎年必ず行っている

シンセイサイザーと声明による花まつり法要

記念講演 南無の会

会長 松原泰道先生

放送タレント 水 六輔先生

九七年

琉球の調べと声明による花まつり法要

記念講演 南無の会

会長 松原泰道先生

シャンソン歌手 美輪明宏先生

放送タレント 水 六輔先生

九七年

琉球の調べと声明による花まつり法要

記念講演 南無の会

会長 松原泰道先生

喜劇役者 ポール牧先生

九八年

竹の響きと声明による花まつり法要

記念講演 南無の会

会長 松原泰道先生

愛知専門尼僧堂堂長 青山俊董先生

以上のように、音楽法要と記念講演という組み合わせのようである。

また広報については、月刊誌「ナー

ム」への掲載、閉じ込めのハガキ、

あるいは全国に何か所かある支部

（〇〇南無の会）からの案内等が考

えられる。

●浄土真宗本願寺派

（本山）

御影堂門に花御堂と白象を

用意し、参拝者にリーフレッ

トと甘茶のティーバックを配

付。

（京都市内の真宗四派）

（本願寺派・大谷派・興正派・

仏光寺派）持ち回り

九七年は本願寺派が担当

阪神・淡路大震災の支援活

動の一環として、神戸の被災

した子どもたち百人を本山へ

招待。雨天のため、白象を引

きながら門前町を行進するパ

レードは中止となったが、書

院拝観や龍谷大学宗教育部

院

院

院

院

の学生による、ゲームや人形劇がおこなわれた。

#### 〔築地別院〕

メイン行事は、華やかに着飾った稚児行列。近くの公園から宗門関係の千代田女学園の生徒によるマーチングバンドとプラスバンドの先導で、八十人の稚児が沿道の見物人に交通安全を訴えながら別院本堂に到着した。

別院境内に設けられたコーナーの内、巨大ビニール遊具の「ふわふわ」といろいろな動物が放し飼いにされた「ふれあい動物園」が子ども達に喜ばれ、大人たちには、茶道・数内流の東京支部による無料の茶席に人が集まり、千五百人の子とも達と保護者で賑わった。

#### ●孝道教団

「孝道山花まつり」は四月一日から十日まで行われる。

第四十五回の昨年(九七年)は、「菩提(さいわい)を次代にわたす花まつり」の標語のもと、四月一日の宝蔵大黒天ご開帳と両統理さまによる花御堂誕生仏への甘茶のご供養、青年男女による「フラ

ワーカード抽選会」、五基の花舞台の審査会を除幕として、三日は「花まつり子ども大会」、六日は

午前十一時より各地の郷土民謡踊りや仮装などのパフォーマンス、午後には花まつりの白眉たる男女青年式衆による「甘茶の庭儀」が、十八カ国の海外来賓と国内来賓、一般参列者で埋まる本仏殿大道場で仏誕絵巻を展開した。八日は「釈尊降誕会大法要」が両統理さま正・副御導師のもと厳修され、九、十日の両日には各施設の身障者らを迎えて灌仏の集いを催した。

#### 二、若干の問題提起と提案

お釈迦さまの伝記に書き示されるその生涯は、檀信徒やその他の人々の多くにとつては「普通の人々が成し得ない偉業を成し遂げた、私たちがは違う存在」として理解されていることは、教化の現場で実際によく感じることである。

それは、お釈迦さまが「拝む仏」としては機能するが、「成る仏」としては機能しないことを意味する。そこで私たちが第一に取り組まねばならないことは、私たちの現実の生き方や苦しみの解決に、お釈迦さまの教えが深く関わっていることを伝

えることではないだろうか。それはお釈迦さまを信じていることであり、お釈迦さまの生涯を学び、教えに従った生き方をするのである。

そのためには、「神格化」されたお釈迦さまとしてではなく、「一人の人間として生きたお釈迦さま」として分かりやすい形で提示することが必要である。花まつりにおいても、お釈迦さまの誕生から何を学ぶのか、を企画するイベントのテーマやメッセージとして掲げ、かつイベントの随所で説き、お釈迦さまを心の中に生かしていかなければならないのではないだろうか。

では具体的に何をすればいいのか。一番効果的なのはインド仏跡巡拝であろう。子ども達に仏跡巡拝で等身大のお釈迦さまを感じてもらい、同時に現実のインドの実状を見せるのである。費用の面から最初は小規模でも構わないと思う。そのためのオリエンテーションの段階として、仏跡パネル展示も意義があるだろう。また、民間信仰の視点からみると「春山入り」という近くの山に登って花を採ってくるという行事がある。山の神は里から山へ、田の神は山から里へと交替する時期とみなされており、山で採った花は、神や祖霊の

依代として庭に供え、また仏壇や墓地にも供える等、四月八日の頃は先祖祭祀の時期とされてきた。

この点から、「先祖からのいのちの連関という視点からかけがえのない自己の尊さを学ぶ」ための行事とも定義づけられよう。

最後にもう一点、クリスマス以上に盛り上げようというのであれば、「花まつり」という名称は古いのではないかと。「ルンビニ祭」などに改めたらどうか。以上

付記 尚、上記の問題提起と提案に

当たり、「教化研修」等四十号(平成九年三月発行)並びに「駒澤大学学園通信」第二〇二号(平成七年四月発行)を参考にした。

・次号では、全国各地で行われる花まつりの紹介として、愛知県を予定しています。

・今年度禅文化学林は、三月に北海道管区曹青の皆様のご協力により開催の予定です。次頁にて御案内します。

# 平成10年度「禅文化学林」事業

メインテーマ 「青年僧に望む」

サブテーマ (仮題) 「今の教育問題に宗教は何ができるのか」

開催形態：基調講演＋パネルディスカッション

主 催：全国曹洞宗青年会

共 催：「禅文化学林」北海道実行委員会  
北海道第2宗務所・第3宗務所青年会

開催場所：札幌京王プラザホテル (パブリックスペースを予定)  
札幌市中央区北5 (011) 271-0111

開催日時：平成11年3月12日(金)  
14:00 全曹青報告会  
15:00 基調講演  
16:30  
19:00 懇親会

◎次号にて詳しく御案内します!!



東武鉄道グループ

東武トラベル

運輸大臣登録旅行業第57号 (社)日本旅行業協会正会員

北九州	北九州市八幡西区黒崎3丁目16番4号	〒086-0021 ☎(093)621-1738(代)
福岡	福岡市博多区中呉服町2番1号(第3石橋ビル)	〒812-0035 ☎(092)271-2332(代)
長崎	長崎市恵美須町2番3号(長崎フコク生命館)	〒850-0056 ☎(095)821-7508(代)
大分	大分市都町1丁目2番1号(大分東邦生命ビル5F)	〒870-0034 ☎(0975)37-7373(代)
熊本	熊本市水道町1番30号(第百生命熊本ビル1F)	〒860-0844 ☎(096)351-3344(代)
宮崎	宮崎市高千穂通2丁目5番32号(日本生命宮崎駅前ビル)	〒880-0812 ☎(0985)27-6191(代)

## 東北地区曹洞宗青年会 第23回東北地方集会

# 宮城大会

平成10年11月17日(火)～18日(水) 仙台サンプラザ

### ご挨拶

#### 大会実行委員長挨拶

宮城県曹洞宗青年会会長 佐藤正明

この度、第23回東北地区曹洞宗青年会東北地方集会 宮城大会を当宮曹青が主管となり、杜の都仙台において「大衆教化の原点を探る－友よ共に学ばん－」を統一テーマに掲げ、開催することになりました。

さて、大衆教化の原点とは何か。私達青年宗侶が、自身の脚下を見つめ、学び、そして行動する姿に教化の原点があるのではないのでしょうか。そこから教化の具体的な方法が見えてまいります。

振り返れば、前回の「自然環境」をテーマとした宮城大会から6年経ちましたが、私達をとりまく環境も情勢も一層深刻なものになっております。今大会では再度「環境」を軸として、東北地方という特徴も併せて問題提起したいと思います。

講師として、駒沢大学前学長の奈良康明先生、作家の井上ひさし先生をお迎えします。奈良先生には「道元禅師の自然観」と題してご講演頂き、私達宗侶の「自然観・世界観」を再考したいと思います。また東北はもとより、当県にも大変ご縁の深い井上先生には「コメの話」と題してご講演頂き、「コメ」「農村」「水田」のもつ意外な重要性を認識したいと思います。

この「宮城大会」が、私達をとりまく環境が仏法そのものの姿であり、我が身心と感得していくための一助となれば幸いです。

どうか大会の充実、無事円成のため、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

－友よ、共に学ばん－

宮曹青会員一同、心よりお待ちしております。

### 大会日程

期 日	平成10年11月17日(火)		
会 場	仙台市 仙台サンプラザ		
	午後12時	受付開始	常任幹事会
	1時	記念式典	(決議文採択・絡子伝達)
	2時～3時半	基調講演	駒沢大学前学長 演題「道元禅師の自然観」 奈良康明先生
		記念撮影	
	4時～5時半	記念講演	作家 演題「コメの話」 井上ひさし先生
		チェックイン	
	6時～8時	懇親会	

11月18日(水)

朝食後自由解散 会費2万円(宿泊なし、懇親会13,000円)

#### 連絡先

事務局 〒981-0915 宮城県仙台市青葉区通町1-3-16 玄光庵内  
事務局長 伊串泰純  
TEL/FAX 022-234-9848



# 中国曹洞宗青年会連絡協議会 「山口大会」のご案内

山口県曹洞宗青年会会長 藤田和彦

朝夕の冷え込みが、秋を思わせる  
とはいえ、日中は例年になく暖かい  
日が続いております。

尊董老師におかれましてはお変わ  
りございませんでしょうか。

平素より山口県曹洞宗青年会に対  
しましては、格別のご理解とご協力  
を賜り、厚く御礼申し上げます。

先日の「緑陰禪」は皆様のお陰様  
をいただき、約五十名の参加のもと  
四衆共に法縁に浴させていただくこ  
とができました。色々な課題を残し  
た会ではありましたが、我々会員の  
相互研修と今後の活動の為の貴重な  
経験となりました。

今回のテーマ「食」「環境問題」  
は継続して終わりのない研修課題と  
して取り組んで参りたいと思えます。  
さて別紙のとおり、中国曹洞宗青  
年会連絡協議会山口大会が開催され  
ます。

この度は、緑陰禪に引き続き「グ  
リーンプラン」の一環として環境に  
ついて学びます。

講師は、現在環境問題では世界的

に第一人者の高木善之氏を招き、研  
修会と公開講座を設けます。

環境問題が新聞テレビに流れない

日はない昨今、「グリーンプラン」

を教化する我々が知らないこと、知

らされてないこと、無意識に見落と

した現状の最新情報を、今一度確認

し、「何ができるのか。何をしなければ

ならないのか」共に考えたいと存

じます。

尊董老師には法務ご多忙の折まこ

とに恐縮ながら、ぜひ来席賜り、激

励、ご助言いただきたく謹んでご案

内申し上げます。

合掌



## 日 程

11月18日(水)

13:00 受付  
13:30 開会式  
14:00 講演  
17:15 入浴  
18:30 懇親会

11月19日(木)

7:00 朝食  
8:30 講演  
11:10 閉会式  
11:40 解散  
13:00 公開講座  
15:30 講座終了

〈梅花流法具指定販売店〉

法衣・袈裟・打敷・寺院荘厳具・京仏壇・京仏具



株式会社

安 藤

〒605-0081 京都市東山区古門前通花見小路東入ル

法衣部 ☎0120-29-8161

仏具部 ☎0120-29-8165

贈答品部 ☎0120-29-8168

FAX(075)525-2070番

東京店 〒105-0014 東京都港区芝2丁目15番2号

☎0120-3232-09

FAX(03)3454-3251番

福岡店 〒812-0036 福岡市博多区上呉服町12-7

☎0120-2143-22

FAX(092)291-2144番

本  
社

第21回

## 中国曹青山口大会

地球環境の実態を知る

—グリーンプランを考えるために—

地球は今…

最近、様々なメディアから「環境ホルモン」「ダイオキシン」などといった言葉を、頻繁に見聞きするようになった。環境問題が、人類のみならず、この地球にとっても現実的な問題となっている証拠であり、宗門に於いても、近年「グリーンプラン」という新たな指針を示し、この問題に向き合い始めている。

今回、環境問題の第一人者である、「ネットワーク地球村」代表・高木善之氏をお迎えし、今、私たちが置かれている状況と、これからの行方について、一緒に考えてみたいと思います。沢山の参加をお待ちしています。

講師 高木善之氏 「ネットワーク地球村」代表

1947年大阪生れ、大阪大学物性物理学科卒業。地球環境の深刻な実態を伝えるとともに、様々な提言を続けている。国連ブラジル地球サミット、モンリオール会議などに出席、以前は指揮者として活躍。

著書は『地球村宣言』『オーケストラ指揮法』『転生と地球』など多数。

●日 時 平成10年11月18日(水)～19日(木)

●会 場 山口グラントホテル

吉敷郡小郡町黄金町1-1

電話 0839-72-7777

FAX 0839-72-7393

●会 費 ￥16,500 (含、公設講座入場料)

## 地球環境セミナー公開講座

現在、環境問題には、環境ホルモン、ダイオキシン、ゴミ、遺伝子組換え食品など私たちに身近な問題と、オゾン層の破壊、地球温暖化、酸性雨などの地球規模の問題があります。私たちが日々老いていくように、地球も老いていきます。この美しい地球を次の世代に残すために、私たちに何ができるのか。最新の話題を含めて環境問題を一緒に考えてみませんか。

●日 時 平成10年11月19日(木)

開場12:30

開演13:00～15:30

●会 場 浄土真宗 本願寺 山口別院 吉敷郡小郡町花園3-7 ☎0839-73-4111

●参加費 1,000円(前売り) 1,500円(当日)

●主 催 中国曹洞宗青年会連絡協議会

●共 催 山口県曹洞宗青年会

●お問い合わせ・お申し込みは 大覚寺 阿武郡阿武町奈古3155

☎ 08388-2-2127 FAX 08388-2-3405

# 『全日本仏教青年会 全国大会』

## ◆タイムスケジュール

1月18日(月)	午前11時30分	受付開始
	午後0時30分	記念式典
	午後1時	記念講演/「ナンバーワンよりオンリーワン！」 —自分の存在が他の人の喜びにつながる— 講師：丸山浩路先生
	午後3時	分科会 1. テーマ「信仰」—来る21世紀へ向けて、 我々の布教活動に焦点を当て、その多様性 を探る。題して「弔事から慶事へ」 2. テーマ「救い」—我々青年仏教者における 救援活動のあり方とは？阪神大震災の事例 をもとに救援活動のあり方について探って いく。 講演会講師：三上 愛さん 3. テーマ「電腦—仏教とマルチメディア」— あなたはパソコンから目をそむけていませ んか？インターネット時代の仏教者として の情報発信を考える。 講演会講師：愛知県立大学教授 小栗宏次先生
	午後5時30分	並行してパソコン体験コーナーを設置
	午後7時30分	懇親会開会 閉会
1月19日(火)	午前8時30分	オプションツアー出発(会費：8,000円) (あしなが育英会レインボーハウス、神戸市内 被災復興状況、淡路島野島断層などを視察 昼 食付き)
	午後2時ごろ	解散

## 記念講演講師 丸山浩路先生 プロフィール

1963年より、心理および言語治療併せてカウンセリング、更には日本で初のプロ手話通訳者となり、1983年以来ステージ・パフォーマーとして感動のエピソードを語るユニークにして新しいジャンルの“ステージ講演”は全国各地で大絶賛を博している。

NHK教育テレビ「手話ニュース845」のニュースキャスターとしてもダイナミックにして心暖まる手話パフォーマンスで、多くのファンを魅了している。

また、「愛していると言ってくれ」「君の手がささやいている」などの数多くのドラマや舞台での独創的な振り付けなどでも活躍している。

## 著 書

※鈍行列車<エッセイ集> (ダイナミックセラーズ出版)

※詩と歌で覚える手話の本 (祥伝社)

他多数

うつりゆく時代の中で普遍的なものとは何か？  
時／平成十一年一月十八日(月)・午後〇時三十分  
所／神戸ポートピアホテル  
後援／全日本仏教会、全日本仏教婦人連盟  
協賛／神戸市仏教連合会

●全日本仏教青年会 事務局  
〒652-1081 4  
神戸市兵庫区門町3-1-4 福厳寺内  
TEL 078-168111951  
FAX 078-168112569

全曹青副会長  
静岡第一 山田 勇賢

静岡県第一宗務所青年会は、予てより、永平寺大遠忌局からお話のありました、「道元禪師墓古報恩行脚 夢街道ウォークラリー」を前・後半に分け、十月初旬に前半の行程を修行致しました。

今回は特別に、寿松木会長をはじめとして執行部の面々もご同行頂きました。

青年会としての行脚は初めてのことであり、今後修行される方々へ、少しでも効果的な助言が出来る様子を念頭に勤めてまいりました。

小倉玄照老師は「墓占とは実践である」と説かれて居ります。又、青年会の最大の長所であり、最高の武器は行動力であると私どもは考えます。

とはいえ、普段歩き馴れていない者達の行脚でしたので、足の豆も潰れ、悲壮感さえ漂う様な行程と成りましたが、其々に心に秘めたるものを土産に帰途に就きました。

今後、より多くの方々が実践の墓古を体感されます事を祈念致しまして、ここに報告致します。

## 夢街道ウォークラリー行程表

### 行程

- 5日(月) 静岡発 京都着 昼食後 ウォークラリー開始  
宇治興聖寺 (13:00)～伏見・深草～(17:00) 建仁寺・丸山公園茶毘塔 (約15km)  
宿泊 ホテルサンルート京都 京都市下京区河原町松原下ル
- 6日(火) 建仁寺前辺り (8:00)～銀閣寺前・詩仙堂前・八瀬・大原・途中峠・花折峠  
～(17:00) 大津市葛川 地藏院(滋賀1-8) 前辺り (約35km)  
宿泊 くつき温泉グリーンパーク思い出の森 滋賀県高島郡朽木村大字柏341-3
- 7日(水) 地藏院前辺り (8:00)～朽木 興聖寺・檜峠・若狭街道  
～(17:00) 福井県 上中町(特定した地点をありません) 辺り (約35km)  
宿泊 サンホテルやまね 福井県小浜市白鬚55-1
- 8日(木) 上中町辺り (8:00)～三方五湖・美浜町・関峠～(17:00) 敦賀市 永建寺 (約35km)  
宿泊 北国グランドホテル 福井県敦賀市中80-1-3



# 夢街道 道中記

静岡第一青年会 平野英宗

今回、道元禪師七五〇回大遠忌に因み、道元禪師が宇治の興聖寺から永平寺まで歩かれた道程を威儀に従がって歩こうというものです。前半として敦賀の永建寺までの百二十里を十月五日〜八日まで総勢二十余名アドバイザーに西垣老師を迎え、藤枝宗乗寺様、一般参加の石野さん、全曹青より寿松木会長他三名の参加させてささげようとなりますことやら。



○十月五日 日曜 晴れ

午後、京都に到着、すぐに誕生寺・興聖寺で諷経をして出発する。まだこの時は誰もが安易に考えていたみたいだ。後にどんな苦勞があるかも知らず。

建仁寺拝登で終了と思いきや目標キロ数に足りず終つてみれば六時過ぎ、おにぎり一個じやきつい。暗雲が漂ってくる。

○十月六日 火曜 晴れ

丸山公園茶毘塔より京都の街を歩け。情緒があつていいなあ、観光だけなら。大原を過ぎるといよいよ峠越えである。足の痛み、暑さと渴き、何も考えられない無我の境地に入る。終つて宿泊所の風呂が部屋から遠い事、遠い事、涅槃の境地に入つてしまふ。

○十月七日 水曜 雨

起床したら何と雨が降っている。ということは今日は歩かなくても良い。車で移動だ。心もウキウキとしてくる。朽木の興聖寺拝登後、前日終了地点まで戻り車だ！と誰もが思う。しかしボンチョを着て歩く事となる。生きながらに地獄廻りを味わう事になってしまった。止まれば寒

い、歩けば痛い、雨は止まない。



○七月八日 木曜 雨のち晴れ

起きるのが怖い。このまま眠っていたい。毒食らわば皿まで、どうにでもしてくれという感じ、普段の不摂生のしつべ返しをされている。午後になって晴れたが心は曇ったままだ。でも絶景の若狭の海を見るともうゴールは近いんだと氣力を振り絞って全員永建寺に到着する。以心伝心、完走できた喜びは言葉では言えない。辛い事、苦しかった事、この日で雲散霧消してしまった。でもウォークラリーはまだ終っていない。

来年四月からはいよいよ永平寺への道である。この道中記も完とは書く事ができない。 つづく



# 全曹青の コラム

前出、井上信一様が若い和尚さんたちの勉強のためとして下記を御紹介下さいました。(同パンフレットより)

「今日の社会に生きている私たちは、自然破壊や環境汚染、また突然の危機に対して不安の多い生活を強いられています。また、一方では複雑な人間関係がからみ、孤独感や疎外感にさいなまれ、精神的なプレッシャーを受け、ノイローゼなどの精神障害にかかる人も多く見られます。つまり心の病に犯されている人たちが多いということです。これらの現代病を克服するためには、心の救済、励まし、いたわりといった人間の優しさ、思いやりが一番大切です。」

松原泰道師は、偉大なる禅者、説法師ともいわれ、講演や講話の名手であることは周知の通りであります。人に対する優しい眼差し、仏教に対する深い帰依、そしてその人柄を映す独特の語り口とユーモアに富んだ話題。そうした松原泰道師の説得力ある話法と豊富な人生観を臨場感あふれる映像に収めた初のビデオ作品です。」

企画…仏教聖典を経営に活かす会  
発売…(株)コスモプロモーション  
お問い合わせ先…

☎03-3367-2633(細谷)

## 編 集 後 記

この度、特別寄稿として井上信一様より「経済人として仏教を考える」ということで、貴重なご意見、並びに著書の紹介・更には私たち青年僧への提言を頂戴いたしました。仏教振興財団理事長としてご活躍なされた本年、「仏教伝道文化賞」を受賞されました。

編者が駒沢大学「仏教経済研究所」でお手伝いしている頃、井上様がお坊さんが今後よく考えて下さい」と戒名料等のことについて危惧されておられ、当に私たち青年僧が一人一人、一考しなければならぬと思うのであります。

秋田県太平山・秋のブナ原生林。

表紙・写真は岩手県種市町  
中里光男氏提供。

…ご用命は…の御贈答品の法要等の製造から表装の經典

# 株式会社 タイキ

〒538-0042 大阪市鶴見区今津中町3丁目9番地6号  
TEL.06-969-7191(代) FAX.06-969-7194

## 発 行 所

全国曹洞宗青年会

〒105-8544 東京都港区芝2-5-2 曹洞宗宗務庁内

発行責任者 寿松木 宏 毅 編集責任者 東 井 千 明

T E L 03-3454-5411 定価100円

郵便振替 00110-1-130539

全国曹洞宗青年会